

Salon

Vol.155 2025年3月 春号



ホール3F壁画 ポール・ゴアマン作「アダムとイヴ」

- CONTENTS
- 01 Prime Interview — 石田泰尚
 - 03 Phoenix Presents — ザ・フェニックスホール開館30周年記念公演
チャボロ・シュミット
 - 06 Pick Up — アカデュオ リサイタル〜ポーランドの名作曲家たち〜 ほか
 - 07 Essay de say — チャボロ・シュミットとマヌーシュ・スウィング 鈴木大介

石田泰尚さん



©Norizumi Kitada Universal Music

この日、ザ・フェニックスホールは、ヴァイオリニストの石田泰尚率いる「トリオ・ジャパン」のコンサート。昨年、石田が率いる別ユニット「石田組」が、日本武道館に8,300人を集めて話題となっていただけに、ザ・フェニックスホール300席のコンサートチケットは即日完売のプラチナチケット状態。演奏に加え、演出にも細心の準備を怠らない「石田組」とは違い、「トリオ・ジャパン」は笑いを排除したピアノトリオによるクラシックコンサート。「皆さん、クラシックの演奏をちゃんと聴くのかな？」と猜疑心を持ちながら客席の様子をうかがっていると、満員のザ・フェニックスホールは集中力と緊張感で満たされてビックリ！渾身の演奏には、研ぎ澄まされた集中力で聴衆は応えるものなのだ、大いに反省。

カーテンコールで石田泰尚が「今年10月、ここで僕のリサイタルをやります！」と話す、客席からは「きゃーッ！」と歓声と拍手が起り、この瞬間にリサイタルのソールドアウトが約束された。リサイタルのチケットは、プラチナチケットになることだろう。そして、コンサート終了から30分後、疲れた様子も見せずに、石田は我々の前に姿を現し、リサイタルに向けた抱負を語ってくれた。

(磯島浩彰 音楽ライター)

あいおいニッセイ同和損保ザ・フェニックスホール開館30周年記念「偉大なる3人のコンサートマスター」
神奈川フィルハーモニー管弦楽団&京都市交響楽団コンサートマスター
石田泰尚

2025年10月1日(水)19:00開演 指定席
一般 5,000円 友の会会員 4,500円 学生(25歳以下) 1,500円

■出演 石田泰尚(ヴァイオリン)、岡本知也(ピアノ)

■曲目 モーツァルト:ヴァイオリンソナタ 第25番 ト長調 K.301 (293a)
フォーレ:ヴァイオリンソナタ 第1番 イ長調 op.13
スメタナ:わが故郷より
ブラームス:F.A.Eソナタ 第3楽章
ブラームス:ヴァイオリンソナタ 第3番 二短調 op.108

■チケットのお求め・お問い合わせ
ザ・フェニックスホールチケットセンター
06-6363-7999(平日10:00~17:00、土日祝休)

石田泰尚、ザ・フェニックスホールに見参!

Yasunao
Ishida

ザ・フェニックスホールは昨年に次いで2度目ですね。ホールの印象は如何でしょうか。

昨年初めこのトリオで演奏させて頂いて、響きやステージと客席の距離感など、僕は凄く好きですね。音楽に集中できるホールです。今日もここで演奏出来るのを楽しみにしていました。来年度、素晴らしい企画をご提案頂いて、今から楽しみにしています。

その話をさせていただく前に、いくつかお聞きしてもいいですか。昨年、日本武道館で石田組のコンサートをやられて、8,300人が集まったそうですね。8,300人の景色と、本日のように300人の景色では見える風景が違うと思うのですが、その点は如何でしょうか。

お客様の数が多い、少ないは関係ありません。僕の思いとしては、お越し頂いたお客様には、必ず喜んで帰っていただきたい。今日お越しのお客様の中には、笑いも演出も盛り込んだ石田組のコンサートをきっかけにご来場された方もいらっしゃるかもしれません。今日はピアノトリオによるクラシックコンサートで、笑いの要素はありませんが、弦楽器の愁いを帯びた音色やピアノの迫力を、ステージから近いこの距離で体験してみて、「ピアノトリオも良いなあ」と思ってもらいたかったです。今日のお客様は、凄く集中して聴いてくださいました。

集客が厳しいと言われるクラシックのコンサートで、日本武道館に8,300人が来場した。もちろんこれは、サントリーホールやフェスティバルホールを満杯にして来たという実績を踏まえてのことですが、この後、さらに大きなホールでのコンサートを目指されますか。

日本武道館に8,300人が集まったというのは素直に嬉しかったです。これは自分の財産だと思いました。しかし、あまりその事に満足し過ぎると、そこでチャレンジする気持ちが止まってしまう。新たな目標として、日本武道館よりもっと大きなところでやりたい! やらないといけない! と思いました。

ロックのコンサートだと、日本武道館の次はアリー

ナという事になるのでしょうか。そしてスタジアム? 野外? そもそも石田さんが日本武道館を狙おうと思われたキッカケは何ですか。

石田組は2014年の結成です。毎年コンサートをやっていくうちに少しずつ集客が増え始め、「このまま、サントリーホールを満杯にしたい!」と言っているうちに、サントリーホールのソールドアウトが3、4年続いたのです。その時に「夢みたいな話だけど、もっと大きなホールでやりたいね。例えば、日本武道館とか」とメンバーと話をしていたところ、一昨年、キョードー東京の社長さんが来られて「石田君、来年石田組が10周年でしょう。日本武道館やろうよ! 押さえるから」と言ってくださったのです。そこから夢の実現に向けて進みだしました。もちろん不安もありましたが、これまで日本中、いろんなところで手を抜かず、真剣にコンサートをやって来たから、結果的に全国から8,300人もの方がお越しになった。もう感謝しかありません。こうなったらアリーナ、やりたいです。とにかく大きな所でやりたい。あの8,300人の景色を見たら、そう思っただけだと思います。それほど凄い景色でした。

石田組以外にも色々な形態のアンサンブルをやっておられますし、神奈川フィルの首席ソロ・コンサートマスターと京都市交響楽団の特別客演コンサートマスターもやられている。年間の公演数はどのくらいになりますか。

この間、数えてみたのです。1日2公演ある演奏会を2と数えたら、なんと218本でした。オーケストからソロリサイタルまで、色々なユニットでやっているの、譜読みだけでも大変ですし、「いつ練習しているの?」と仲間からも聞かれます。短時間で集中し、要領良くを心掛けていますが、正直きつくないと言えば嘘になります。でも、元気なうちにやれるだけやろうと思っています。原動力ですか? 記憶に残るヴァイオリニストになりたい、という事でしょうか。「そういえば、日本武道館を一杯にした、石田っていうヴァイオリニスト、いたよね?!」そんなヴァイオリニストになりたいと思っています。

素敵な話ですね。話題をザ・フェニックスホールに戻します。ホールオープンから30周年と云う事で、

ヴァイオリニスト3人のリサイタルを企画されるそうですね。色々な条件を考慮し、決まったのが郷古廉さん、フォルクハルト・シュトイデさん、そして石田泰尚さん。この3名を選出する上で、大事なポイントがオーケストラのコンサートマスター経験者という事だそうですね。

そうだったのですか。世界と日本を代表するオーケストラのコンサートマスターと一緒に来て光栄です。10月のリサイタルのプログラムは、お二人と被らないように選曲しました。モーツァルトのソナタ第25番で始まり、ブラームスのソナタ第3番で終わるドイツ・オーストリアプログラムと思いきや、途中フォーレのフランスや、スメタナのチェコを経由するワールドワイドなプログラムです。例えば、モーツァルトとフォーレでは、ヴァイオリンの弾き方が全然違います。そういう点もチェックしてお聞きください。

そのビジュアルとヴァイオリンの音色のギャップが石田さんの最大の魅力だと思いますが、美しい音を奏するためには相当練習をされていると思います。

もちろん練習はしています。全ての話は、自分がヴァイオリンを上手く弾けるという前提の上に成り立っています。時間は限られますが、集中して効率的にやっています。

石田さんがお手本にしていたり、好きなヴァイオリニストはいらっしゃいますか? ぜひ教えてください。

ナージャ・サレルノ=ソネンバーグとジュリアン・ラクリンが好きです。公演を追いかけたり、音源を買い揃えるようなことはありませんが、ちょっと時間が出来た時などにCDを取り出して来て「いいなあ!」なんてことはありましたね。素敵なのヴァイオリニストだと思います。

それでは最後に、リサイタルに向けたメッセージをお願いします。

素晴らしいヴァイオリニストに混じってリサイタルを全力でやらせて頂きます。興味深いプログラムになったと思います。10月1日は、ぜひザ・フェニックスホールにお越しください。お待ちしております。

石田泰尚(いしだ・やすなお/ヴァイオリン) 神奈川県出身。国立音楽大学を首席で卒業、同時に矢田部賞受賞。新星日本交響楽団コンサートマスターを経て、2001年神奈川フィルハーモニー管弦楽団ソロ・コンサートマスターに就任。以来「神奈川フィルの顔」となり現在は首席ソロ・コンサートマスターとしてその重責を担っている。これまでに神奈川文化賞未来賞、横浜文化賞文化・芸術奨励賞を受賞。結成時から30年参加するYAMATO String Quartet、自身がプロデュースした弦楽アンサンブル「石田組」など様々なユニットでも独特の輝きを見せる。2018年には石田組がNHK-FM「ベストオブクラシック」およびBSプレミアム「クラシック倶楽部」で放送されるその熱いステージの模様は大きな反響を呼び、2019年にはEテレ「らら♪クラシック」で特集が組まれた。2020年4月より京都市交響楽団特別客演コンサートマスターを兼任。2022年に初の著書となる「音楽家である前に、人間であれ!」を刊行。5月~9月にかけてミュゼザ川崎シンフォニーホールにて無伴奏から協奏曲まで様々な編成で演奏する「石田泰尚スペシャル 熱狂の夜」を開催。2024年には石田組でNHK「あさイチ」に出演、日本武道館公演を行い8,000人以上を動員し大きな話題となった。最新アルバムは2024年4月にリリースされた『石田組 結成10周年記念2024・春』。2025年4月より横浜みなとみらいホール「プロデューサー in レジデンス」第3代プロデューサーに就任。使用楽器は 1690 年製 G.Tononi、1726 年製 M.Goffriller。

The Phoenix Hall 30th Anniversary
あいおいニッセイ同和損保ザ・フェニックスホール開館30周年記念
「偉大なる3人のコンサートマスター」

1995年にオープンしたあいおいニッセイ同和損保ザ・フェニックスホールは、2025年に開館30周年を迎えるにあたり、特別な演奏会を企画しました。それは、3人のコンサートマスターによるリサイタルシリーズです。普段は大きなホールで多くの奏者を束ねる彼らが、300席の小さなホールでヴァイオリンとピアノのみで奏でる旋律と響きは、まさに小宇宙の音楽。オーケストラを牽引するダイナミクスを持ち合わせているからこそ表現できる、繊細でありながらも深遠な世界を存分に堪能してください。また、今回は3人に自由にプログラムを組んでいただきました。それぞれの個性が色濃く反映された意欲的な内容となっており、選曲も含め、お酒を飲み比べるようにそれぞれの音楽世界を聴き比べながらお楽しみください。

3公演セット券 一般 ¥14,000 友の会会員 ¥12,000 (お一人様2席まで) ※3公演セット券・学生券(25歳以下)は当ホールチケットセンターのみのお取り扱い。 ※3/15(土)~5/9(金)は、3公演同じ席でのご予約となります。 ■1公演毎のご購入も可能です。 発売日は右の表でご確認ください。		ザ・フェニックスホール 友の会先行予約	一般発売
	3公演セット券	2025年 3月15日(土) 10:00受付開始	2025年 3月21日(金) 10:00受付開始
	1回券 6/28、10/1、11/15公演分	2025年 5月10日(土) 10:00受付開始	2025年 5月16日(金) 10:00受付開始

*インターネット予約によるお申込みは、セット券、1回券とも一般発売日翌月曜日から。
 *各発売日初日は、電話予約のみのお申込みとなります。

世界最高峰オーケストラの心臓、熱きその鼓動
 ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団コンサートマスター
フォルクハルト・シュトイデ




■出演 フォルクハルト・シュトイデ(ヴァイオリン)
三輪郁(ピアノ)

■曲目 モーツァルト:ヴァイオリンソナタ ホ短調 K.304
ドヴォルジャーク:
4つのロマンティックな小品 op.75, B.150
フランク:ヴァイオリンソナタ イ長調
ラヴェル:ツィガーヌ ほか

6/28(土) 15:00開演 指定席
 一般 ¥5,000 友の会 ¥4,500 学生 ¥1,500

超弩級のスケール感、武道館を満席にした男
 神奈川フィルハーモニー管弦楽団&
京都市交響楽団コンサートマスター
石田泰尚




■出演 石田泰尚(ヴァイオリン)
岡本知也(ピアノ)

■曲目 モーツァルト:
ヴァイオリンソナタ 第25番 ト長調 K.301 (293a)
フォーレ:ヴァイオリンソナタ 第1番 イ長調 op.13
スメタナ:わが故郷より
ブラームス:F.A.Eソナタ 第3楽章
ブラームス:ヴァイオリンソナタ 第3番 二短調 op.108

10/1(水) 19:00開演 指定席
 一般 ¥5,000 友の会 ¥4,500 学生 ¥1,500

鋭く、深く、しなやかに時代を解き放つ疾風
 NHK交響楽団コンサートマスター
郷古廉




■出演 郷古廉(ヴァイオリン)
沼沢淑音(ピアノ)

■曲目 ショスタコーヴィチ(ツィガーノフ/アウエルバハ編):
24の前奏曲 op.34(ヴァイオリンとピアノ版)
ショスタコーヴィチ:ヴァイオリンソナタ op.134

11/15(土) 15:00開演 指定席
 一般 ¥5,000 友の会 ¥4,500 学生 ¥1,500


■世界一周音楽の旅31 友の会先行予約3/15(土)10:00~、一般発売3/21(金)10:00~

2025年 8月8日(金)
 19:00開演 指定席
 一般 ¥5,000(友の会会員¥4,500)
 学生(25歳以下) ¥1,500

ジャンゴ・ラインハルトの魂を継ぐマヌーシュ・スウィングの帝王
チャボロ・シュミット

出演 チャボロ・シュミット(ギター)、
アンソニー・ムッチオ(ベース)、ジュリアン・カティオ(ギター)

チャボロ・シュミットは、マヌーシュ・スウィング(ジブシー・スウィング)と呼ばれるジャズのスタイルで演奏するギタリストです。マヌーシュ・スウィングとは、アメリカのスウィングジャズとヨーロッパのジブシー(ロマ)音楽が融合したもので、1930年代にフランスで生まれ、伝説的なギタリスト、ジャンゴ・ラインハルトによって確立されたジャズのスタイルで、世界中に広まりました。ギターをリズム楽器のように奏でるのが特徴で、非常に軽快でありながらも哀愁を感じさせる音楽です。チャボロ・シュミットは、ジャンゴの魂を直球で受け継いだギタリストで、情熱的で荒々しく、自由自在に旋律を奏でます。そのテクニックは超絶で、まさにマヌーシュ・スウィングの帝王と呼ぶにふさわしいエネルギッシュな魅力にあふれています。フランスの古いカフェバーで流れているような音楽が好きの方にぜひお勧めしたいです。




■フェニックス・エヴォリューション・シリーズ112 友の会先行予約3/15(土)10:00~、一般発売3/21(金)10:00~

2025年 8月6日(水)
 19:00開演 指定席
 一般前売 4,000円(友の会会員3,600円)
 一般当日 4,500円(友の会会員4,050円)
 学生前売 2,000円 当日 2,500円

ポーランド音楽国際コンクール優勝!
いま最も旬な“室内楽デュオ”による、初オールポーランドプログラム!
アカデュオ リサイタル
~ポーランドの名作曲家たち~

出演 松岡井菜(ヴァイオリン)、木口雄人(ピアノ)

曲目 ルトスワフスキ:スピト
 エルスネル:ピアノとヴァイオリンのためのソナタ 第2番 二長調 op.10
 タンスマン:ヴァイオリンとピアノのためのソナタ 第2番 二長調
 シマノフスキ:神話 op.30 より 第3曲「ドリュアデスとパン」
 ノスコフスキ:メロディ op.21-1
 パデレフスキ:ヴァイオリンとピアノのためのソナタ イ短調 op.13



公演チケットのお申し込み方法

お申し込みは
お電話 06-6363-7999 またはご来店

営業時間 平日 10:00~17:00(土日祝休業)
 3/15(土)・5/10(土)は友の会先行予約のため特別営業。
 各発売日初日は、電話予約のみのお申し込みとなります。

■ チケットお申込み後のお受け渡し方法

下記①または②のどちらかとなります。
 ①お申込み日から10日以内にザ・フェニックスホールチケットセンターへご来店ください。チケットセンター窓口では、クレジットカード、キャッシュレス決済に対応しています。
 ②ご予約後に郵便振込みをしていただき、入金確認後チケットをご郵送させていただきます。皆様のお手元にチケットが届きますのはご入金をいただいてから約10日後となります。その際、振込手数料はお客様にてご負担ください。尚、郵送は簡易書留(一律470円)のみとさせていただきます。

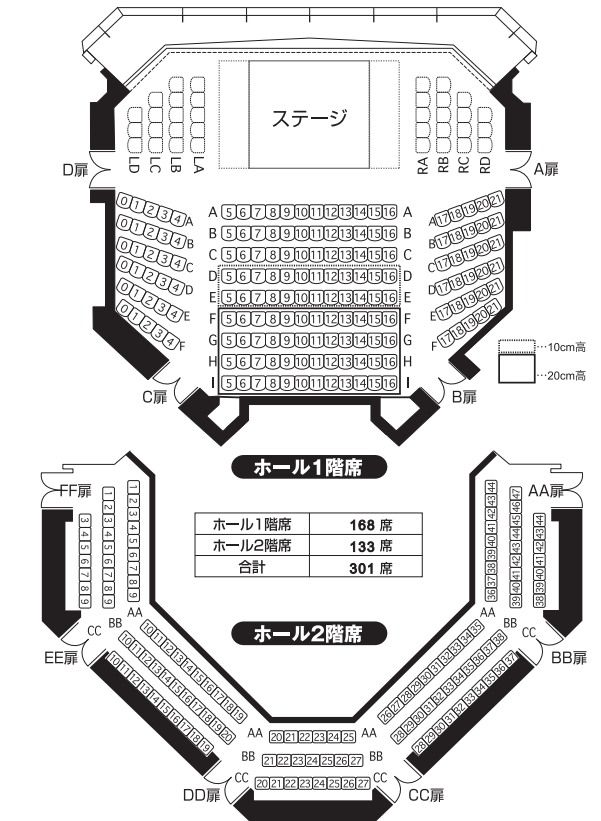
振込口座
00940-0-95351

加入者名
ザ・フェニックスホール

ザ・フェニックスホールチケットセンターは、ビル8階、エレベーターを降りて廊下右側です。



照明・音響設備、エスカレーター等の改修工事のため、2025年4月30日(水)まで休館させていただきます。ホール事務所、チケットセンターは通常通り営業いたします。



2025年度ティータイムコンサートシリーズ 前期1回券の発売		2025 6/20金 ワルター・アウアー フルトリサイタル [175]	14:00開演 指定席 一般 4,500円(友の会会員4,050円) 学生(25歳以下)1,500円
1回券 前期公演分	友の会先行予約 2025年 3月15日(土) 10:00受付開始	一般発売 2025年 3月21日(金) 10:00受付開始	ウィーンフィル首席奏者の矜持を聴く 出演 ワルター・アウアー(フルート)、沢木良子(ピアノ) 曲目 ポルヌ:カルメン・ファンタジー プロコフィエフ:フルートソナタ ニ長調 op.94 ほか
*6/19(木)までは、引き続きセット券の販売も行っております。詳細はホームページをご覧ください。		2025 7/24金 パスカル・ロジェ ピアノリサイタル [176]	14:00開演 指定席 一般 5,000円(友の会会員4,500円) 学生(25歳以下)1,500円
	フランスの至宝、至極のピアノズム 出演 パスカル・ロジェ(ピアノ) 曲目 ラヴェル:亡き王女のためのパヴァーヌ、鏡、ソナチネ ドビュッシー:前奏曲集 第1巻	2025 10/17金 アマリス弦楽四重奏団 [177]	14:00開演 指定席 一般 5,000円(友の会会員4,500円) 学生(25歳以下)1,500円
	ドイツ拠点の正統派 出演 グスタフ・フリーリングハウス、レナ・サンドウ(以上ヴァイオリン)、 マライケ・ヘフティ(ヴィオラ)、イヴ・サンドウ(チェロ) 曲目 プラームス:弦楽四重奏曲 第2番 イ短調 op.51-2 ほか		

あいおいニッセイ同和損保ザ・フェニックスホール 住友生命いづみホール 日本室内楽振興財団 3団体合同企画

曲がった家を作る人-故郷に響く西村朗の音楽 <弦楽四重奏>

2025年 7月6日(日) 15:00開演 指定席

- 料金 一般4,500円(友の会会員4,050円) 学生(25歳以下)1,500円
- 出演 郷古廉、石上真由子(以上ヴァイオリン)、大野若菜(ヴィオラ)、水野優也(チェロ)
- 曲目 弦楽四重奏のためのヘテロフォニー(1975/1987) 弦楽四重奏第2番(光の波)(1992) 青い龍 弦楽四重奏のための(2019)【日本初演】 弦楽四重奏 第4番<ヌルシンハ(人獅子)>(2007)

単独券:友の会先行予約3/15(土)10:00~、一般発売3/21(金)10:00~

*他会場とのセット券についてはホームページでご確認ください。
*出演者の都合ではなく、運営側の諸事情により出演者の一部が変更となりました。なお、曲目には変更ございません。

Osaka Guitar Summer 2025 関連事業 ギターアンサンブル ワークショップ 受講生募集

ザ・フェニックスホールでギターアンサンブルを楽しみませんか? たくさんのご応募をお待ちしております。

- 講師 猪居謙、井谷光明
- 募集人数 20名程度
- 課題曲 クレンジャンス:4つの方位

締切 2025年4月30日(水) 必着

フェニックス・エヴォリューション・シリーズ 2026年度公演企画募集/ホール無料提供

あなたの公演プランを舞台上で実現してみませんか?

当ホールが公演企画を公募し、審査で選ばれた企画者にホールを無料で提供します。併せてホールスタッフが公演開催のお手伝いもする公演共催事業です。企画者には主催者として主体的に公演開催のためのマネジメントに取り組んでいただき、ホールは共催者の立場でサポートいたします。文化芸術の創造的な発展に寄与するユニークかつ意欲的な企画のご応募をお待ちしています。

ホール提供日	2026 5/16土 7/29水	2027 11/18水 2/6土
--------	------------------	------------------

締切 2025年5月30日(金) 必着

■お問い合わせ・募集要項の請求

いずれの募集も、詳細を募集要項、ホームページで必ずご確認ください。募集要項、応募用紙は、ホームページよりダウンロードいただけます。

〒530-0047大阪市北区西天満4-15-10-8F あいおいニッセイ同和損保ザ・フェニックスホール
 「大阪ギターサマー」係 または 「フェニックス・エヴォリューション・シリーズ企画募集」係
 TEL 06-6363-0211(平日9:00~17:00) E-mail concert@phoenixhall.jp ホームページ https://phoenixhall.jp

あいおいニッセイ同和損保ザ・フェニックスホール協賛公演のご案内

ザ・フェニックスホール友の会会員の方には割引特典があります。当日券をお買い求めの際は会員証をご提示ください。

協賛公演 “KCM Concert at The Phoenix Hall, Osaka” ~関西圏の最大拠点 大阪梅田で展開する芸術音楽~

高木和弘プロデュース“ウィーン室内楽探訪”

主催 コジマ・コンサートマネジメント

2025年5月21日(水) 19:00開演 指定席 前売・当日 ¥6,000(友の会会員¥5,400) ※友の会割引は前売のみ。限定数。

出演 高木和弘、ヤンネ館野(以上ヴァイオリン)、田中佑子、中田美穂(以上ヴィオラ)、中島紗理、吉田円香(以上チェロ)

曲目 モーツァルト:アダージョとフーガ 八短調 K.546 (弦楽四重奏)
 シューベルト:浄められた夜 op.4 (弦楽六重奏)
 シューベルト:弦楽五重奏曲 八長調 D956

ガラス室内交響楽団(グラス・アメリカ)・コンサートマスターで数多くの受賞経験豊富な高木和弘と仲間たちによるウィーン室内楽探訪へどうぞ一緒にいかがですか。

協賛公演 猪居亜美 CLASSIC×ROCK 2025 -Bach×Yngwie

主催 合同会社Moon

2025年6月1日(日) 14:00開演 指定席
 プレミアムシート 前売・当日 ¥6,500(友の会会員¥6,000) A席 前売・当日 ¥5,500(友の会会員¥5,000)

出演 猪居亜美(ギター)

曲目 J.S.バッハ:リウート組曲 ホ短調 BWV996
 Yngwie Malmsteen:Far Beyond The Sun ほか

猪居亜美が愛してやまないROCKの名曲をクローズアップ。今年はBachとYngwieの世界へ誘います。クラシックギターで繰り広げる様々な音色をお楽しみください。

協賛公演 ヴィオラスペース2025大阪 第6回東京国際ヴィオラコンクール入賞記念ガラ・コンサート

主催 テレビマンユニオン 特別協賛 NITTFファイナンス株式会社、NTT-TCリース株式会社

2025年6月3日(火) 19:00開演 指定席 一般前売・当日 ¥5,000(友の会会員¥4,500)
 U25前売・当日 ¥2,500(2000年以降生まれの方限定。公演当日、生年を証明できるものをご持参ください。)

出演 佐々木亮、ディミトリ・ムラト(以上ヴィオラ)、小栗まぢ絵(ヴァイオリン)、草冬香(ピアノ)、第6回東京国際ヴィオラコンクール入賞者3名(ヴィオラ)

曲目 ハイドン:ヴァイオリンとヴィオラのための二重奏曲 第1番 へ長調 Hob.VI.1
 ヴィエニャフスキ:夢 ヒンデミット:ヴィオラソナタ op.11-4 ほか

ヴィオラスペース2025は第6回東京国際ヴィオラコンクールの入賞者のお披露目の特別企画。2009年に創設された当コンクールは、アジア・太平洋地域唯一のヴィオラ単独の国際コンクールとして世界中から注目されている。第1次、第2次、セミ・ファイナル、ファイナルを勝ち抜いた3名を紹介する。審査委員長、プログラム構成を担う佐々木亮、第1回コンクール第2位のディミトリ・ムラト、そして小栗まぢ絵も賛助出演し華やかなガラ・コンサートとして開催する。

協賛公演 “KCM Concert at The Phoenix Hall, Osaka” ~関西圏の最大拠点 大阪梅田で展開する芸術音楽~

今峰 由香のショパン

主催 コジマ・コンサートマネジメント

2025年6月5日(木) 19:00開演 指定席 前売・当日 ¥5,000(友の会会員¥4,500) ※友の会割引は前売のみ。限定数。

出演 今峰由香(ピアノ)

曲目 ショパン:夜想曲 八短調 op.48-1、24の前奏曲 op.28、ピアノソナタ 第3番 口短調 op.58

関西ゆかりの名手・今峰由香による前回公演(2023年10月)での「ショパン:バラード全曲」の好評にお応えして、オール・ショパン・プログラムのリサイタルを企画しました。是非お聴きください。

協賛公演 第16回 ICEP ネパール/日本 活動報告コンサート2025

主催 認定NPO法人ミュージック・シェアリング

2025年6月14日(土) 14:00開演 指定席 前売・当日 ¥6,500(友の会会員¥5,850) ※友の会割引はお一人様2枚まで。

出演 五嶋みどり、エレノア・デ・メロン(以上ヴァイオリン)、シャーロット・スティッケル(ヴィオラ)、アネット・ヤコヴチッチ(チェロ)

曲目 モーツァルト:弦楽四重奏曲 第22番 変ロ長調 K.589
 メンデルスゾーン:弦楽四重奏曲 第4番 ホ短調 op.44-2

ヴァイオリニスト五嶋みどりが理事長を務める認定NPO法人ミュージック・シェアリングでは、国内外の学校・病院等に“本物の音楽”を届ける活動を続けています。「ICEP(インターナショナル・コミュニティー・エンゲージメント・プログラム)」は、五嶋が若手演奏家とICEPカルテットを組み、アジアや国内で展開する音楽を通じた社会貢献活動です。本公演は、ICEPカルテットによる弦楽四重奏の演奏とともに、日本での活動や昨年12月ネパール訪問での実体験をメンバーが直に語る、五嶋みどりによる独創的なプログラムです。

協賛公演 宮川春菜 classical guitar concert tour 2025 "Progress"

主催 トライストーン・エンタテイメント

2025年6月27日(金) 18:30開演 指定席
 一般前売 ¥3,500(友の会会員¥3,150) 当日 ¥4,000(友の会会員¥3,600) ※友の会割引はお一人様2枚まで。

出演 宮川春菜(クラシックギター)

曲目 バガニーニ:カプリース 第24番 24のカプリースop.1 より
 ジュリアーニ:英雄ソナタ op.150
 ヴィラ=ロボス:エチュード 第7番 12のエチュードより
 リスト:ハンガリー狂詩曲 第2番 S.244 ほか

2024年、世界最高峰の国際コンクールの一つ「アンドレス・セゴビア国際ギターコンクール」にて第2位受賞。『第13回J.S.バッハ国際ギターコンクール』第1位、『第41回スペインギター音楽コンクール』第2位受賞。数々のコンクールで高い評価を受け、最も期待されている若手実力派ギタリスト。満を持して、クラシックの名門ホールを巡る、自身初となる東名阪ホールツアー決定!

チャボロ・シュミットとマヌーシュ・スウィング — 鈴木大介



“マヌーシュ・スウィング”と呼ばれるのは主にヨーロッパに分散したジプシーたちの奏でるジャズやシャンソンを土台にした小粋な音楽のこと。その呼び名に馴染みがなくても、日本にもたくさんの継承者がいることから、テレビのグルメ番組やドラマのBGMなどではかなりの頻度の常連音楽なので、一聴してもらえば、ああ、これですね、と思っただけははず。

その開祖と言われるジャンゴ・ラインハルト(1910-1953)は、それまでのジャズ・コンボの形態にアレンジを加え、ギタリストとしても名を馳せたマリオ・マカフェリがかつてセルマー社で開発し、その系譜を引き継ぐスチール弦のギターを用いてリズムを刻み、ハイハットやシンバルの金属的な歯切れよさとスネアやタムに替わるウッディかつしなやかなアタックによるグルーヴでドラム不在のバンド・スタイルを確立。セルマーギターの力強く歌う、スチール弦が故のヴァイオリンにも迫るような表情豊かなアプローチと自在なピッキングで華麗に紡ぎ出される速弾きが、ドラムやピアノに埋もれることなく聴き取れる、それは新しい音楽スタイルの発明と言っても良いほどの革新だった。フランス、ベルギー、オランダ、ドイツなどのヨーロッパ中央部のジプシーたちに瞬く間に広がった、今日マヌーシュ・スウィングとして世界中のポピュラー音楽に影響を与えているジャンゴ・スタイルは、フラメンコと並ぶヨーロッパのロマ系2大ギター・ミュージックと言えるだろう。

僕は以前、オランダでその中核を担うローゼンバーク一家の主要ギタリスト、ストーケロ・ローゼンバークさんにお話を伺ったことがある。家系図のうちのほとんどがギタリスト(!)というローゼンバーク家に驚いたのも東の間、そ

のようなマヌーシュ・スウィングの家元(?)というか一族はヨーロッパ各地に点在しているそうである。

日本のファンに親しまれているマヌーシュのギタリストは、前述のストーケロ・ローゼンバークの他にビレリ・ラグレイン、アンジェロ・ドゥバル、ヨシヨ・ステファン、と数多い中で、チャボロ・シュミットは最も正統で王道を行くギタリストと言えるだろう。昨今ではマヌーシュ・ギタリストたちも様々な音楽の影響を受け、そのスタイルを微細に変化させているが、チャボロ・シュミットは生粋のジャンゴの語法を受け継ぎ、時に野趣さえ感じさせつつも歌心に溢れた華やかなフレーズで聴いている私たちを釘づけにしてしまう。

ロマの歴史や民俗に深い関心を持ち、その独特な文化を巧みにストーリーに織り込む映画監督トニー・ガトリフによる1993年の『ラッチョ・ドローム』や、チャボロ氏自ら主演も担った2003年の『僕のスウィング』でもファンを喜ばせたが、やはりその真髄は太くて甘く艶やかなギターのフレーズにあると言って良い。『僕のスウィング』では、切れた弦の代わりに自転車のブレーキ・ワイヤーを張るエピソードが描かれているけれど、さすがに実際そんなことはないのでは?と勘ぐりつつも、そのような姿が絵になってしまう細かいことにはこだわらない鷹揚な温かさが彼のギターにはあって、みんなそれに包まれてノック・アウトされてしまうのだと思う。

‘洗練’とあるがまま’がみごとに溶け合って、極上の音楽で確実に良い気持ちに酔わせてくれる、ギタリストならずとも誰もが憧れてしまうギターをチャボロ・シュミットは聴かせてくれる。

鈴木大介(すずき・だいすけ) / ギタリスト

武満徹から「今までに聴いたことがないようなギタリスト」と評されて以後、多岐にわたって注目を集める。1993年アレクサンドリア市国際ギター・コンクール優勝。タンゴやジャズ、また自作によるライブを行う。現代音楽の初演も多い。最新音源は『浪漫の薫り』。第10回出光音楽賞、平成17年度芸術選奨文部科学大臣新人賞受賞。横浜生まれ。洗足学園音楽大学客員教授。

公式ウェブサイト <https://www.daisukesuzuki.com/> ブログ <https://daisukeguitar.seesaa.net/>



公式ウェブサイト



ブログ



©Orie Miyajima

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社は、あいおいニッセイ同和損保ザ・フェニックスホールをフェニックスタワー内に設けています。芸術・文化の発信基地として、関西の芸術文化発展に寄与しています。

〒530-0047 大阪市北区西天満4-15-10 あいおいニッセイ同和損保フェニックスタワー8F TEL 06-6363-0211

Copyright(C) 2011 The Phoenix Hall All rights reserved. 本誌に掲載された記事、写真、イラスト等の無断掲載を禁じます。

発行年月 2025年3月
発行 あいおいニッセイ同和損保
ザ・フェニックスホール
編集 谷 昌則
デザイン 松井桂三有会社

